

出前講座「土砂災害と火山噴火について」

○開催日時：平成26年10月24日（金）10時00分から12時00分

○開催場所：イーハトーブ火山局 他

○参加者：八幡平市立田頭小学校 6年生児童 19名

国土交通省岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として出前講座を開催しております。

10月24日（金）、八幡平市にある「イーハトーブ火山局」等で出前講座を開催し、八幡平市立田頭小学校6年生児童19名が復興教育の一環として参加しました。

最初に「焼走り溶岩流」を見学し、現地ガイドの説明を聞きながら、岩手山が過去にどんな噴火をしたのか学びました。また、約1kmの自然散策路を実際に歩いて、280年以上たった今なお残る荒涼とした景観を体感しました。

次に「ナリヤ沢砂防堰堤」を見学。平成21年12月に完成した砂防堰堤を目の前にした児童からは「何年かかって作ったのですか」「砂防堰堤が壊れる事がありますか」などの質問が出され、メモを取りながらとても興味深く学習していました。

最後に「イーハトーブ火山局」で、「土砂災害と火山噴火」についてスライドを使いながら学びました。迫力ある土石流や地すべりの映像を見たり、土石流模型を使った実験をとおして砂防堰堤の役割を学びました。

今日の出前講座を通じて児童の皆さんは、自分達が住んでいる地域にある岩手山が噴火した際にどんな災害が発生するのか、そのためにどのような防災対策がとられているのか学習出来たようでした。



「今日は一日よろしくお願ひします」



焼走り溶岩流を見学し、岩手山が過去に大きな噴火があった事を学びました。



「ナリヤ沢砂防堰堤」を見学し、砂防堰堤が果たす役割について学びました。



「イーハトーブ火山局」で、砂防堰堤が土石流をくい止める様子を学びました。